

# 研修について

H29.6.18

日本 ALS 協会香川県支部

## 1 研修の目的

ALS 患者、その家族、支援者等に対して、医療、介護、福祉制度などの理解を深め、患者、家族の生活の質(QOL)を高めるための一助とする。

## 2 研修内容及び具体的なねらい

- (1) 医師、研究者等を招き、ALS に関する医学的な情報や理解を深める。
- (2) 看護師、各療法士等を招き、看護・介護等に関する理解や技術等を高める。
- (3) 県や市等の福祉担当者を招き、介護や福祉サービス等についての理解を深める。
- (4) 専門機関(ICT 救助隊等)を招き、コミュニケーション機器等の理解や支援技術等を高める。
- (5) 会員同士の発表会や情報交換会を設け、療養生活の改善に生かす。

## 3 研修を実施するにあたって

- (1) 回数 年1～2回
- (2) 内容 上記内容及び、会員へのアンケート結果等を参考に検討する。
- (3) 場所 研修内容、参加者等によって選定する。(高松医療センター、リハセンター、その他)
- (4) 参加 会員、非会員患者・家族、関係機関、関心がある者等
- (5) 予算 今後、県外講師等招くために必要な経費を積み立て、運用にあてる。
- (6) 記録 参加者より感想等をいただき、支部だより「きぼう」で情報発信する。
- (7) 連携 関係機関等(かがわ総合リハセンター等)の研修会への参加の機会を増やす。

## 4 患者・家族へのアンケートについて

◎ 入院生活・療養生活の実態・問題点等を把握し、今後の支部活動や研修に生かすために、アンケートを実施する。

- (1) 実施時期 H29 年度末(延期の場合は、H30 年度始め)を目途に予定  
※本年度、高松医療センターが療養介護事業を導入中のため
- (2) 対象者 県内の ALS 患者及び家族(主な介護者)